

研究室名	食品分析学研究室 論文発表
------	---------------

発表時期	2020年12月
題名	質量分析イメージング法を用いたインゲンマメ未熟種子中のアブシシン酸および12-オキソ-フィトジエン酸の可視化
掲載雑誌	植物の生長調節, 「特集：質量分析による低分子化合物の可視化」 55(2), pp.77-83, 2020
著者	榎元廣文
概要	<p>質量分析イメージング法 (MSI) は組織切片中の代謝産物の可視化に有効な手法であり、植物ホルモンの可視化への応用が期待されている。しかし、植物ホルモンのような微量な分子の可視化は一般的に困難である。一方、近年、MSIを用いた植物ホルモンの可視化に関する報告がわずかではあるが、みられるようになってきた。本稿では、「特集：質量分析による低分子化合物の可視化」の一部として、本食品分析学研究室でこれまで行ってきた、インゲンマメ未熟種子中のアブシシン酸およびジャスモン酸の生合成中間体である12-オキソ-フィトジエン酸の可視化について解説した。</p>